

## わた SHIGA 輝く国スポ 第79回国民スポーツ大会 トライアスロン競技 和歌山県選手団 結果報告・謝辞

このたび、9月28日（日）滋賀県で開催されました国民スポーツ大会トライアスロン競技に、和歌山県選手団女子監督として参加いたしました。日頃より県選手団の強化・育成に多大なるご支援を賜っております県スポーツ課ならびに和歌山県トライアスロン連合の皆様に、まず心より御礼申し上げます。

今大会では、女子の高橋真紀選手が総合4位入賞、野田優選手が25位と健闘し、皇后杯で3位入賞という輝かしい成績を収めました。男子も原田洋旭選手が67位、南川和也選手が86位で力走し、男女総合で争う天皇杯では5位入賞を果たしました。全国の舞台で堂々とした戦いを繰り広げられたのは、選手一人ひとりの努力の結晶であり、和歌山県チーム全体の成果であると確信しております。

当日は快晴に恵まれ、途中で南川選手がバイクで接触・転倒するアクシデントもありましたが、軽傷で復帰し、全員が無事に完走を果たしました。会場には県スポーツ課競技力向上推進班の部矢氏をはじめ、選手のご家族や練習仲間など十数名もの応援団が駆けつけ、選手たちに力を与えてくださいました。また、県トライアスロン連合からは4名の審判スタッフが運営を支え、万全の体制で選手を送り出すことができました。

出場に向けては、5月の南紀白浜トライアスロン大会での選考を経て、7月の市内PALポートでの練習会や8月の滋賀現地合宿を、高橋正俊コーチご指導のもと実施し、奈良県選手との合同練習も取り入れました。そのほかにも、紀の川河川敷での早朝バイク集団練習を重ね、選手たちは確実に力を伸ばしてきました。さらに9月4日の県選手団結団壮行式では、県の皆様から心温まる激励をいただき、士気を大いに高めることができました。

今回、私は女子監督として初めて国スポにかかる機会をいただきました。各種会合や書類の準備など戸惑うことも多くありましたが、その都度、周囲の方々の支えに助けられ、なんとか役目を果たすことができました。特に、県トライアスロン連合強化普及委員長の田中作治氏には、選手選考から練習会の企画・運営、大会本番に至るまで一貫して全体を主導いただきました。その尽力なくして今回の成果はなかったと感じており、この場を借りて深く感謝御礼申し上げます。

今大会で得た経験と成果を次につなげ、さらなる競技力向上を目指してまいります。今後ともご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

和歌山県選手団 女子監督 竹下直彦

